

楽じゃないけど 楽しい道を

Learn from
yesterday.

「昨日から学ぼう」

京都府内公立高校 11月調査の結果発表

本日午後に、11月の進路希望調査の集計結果が教育委員会において報道機関に広報発表され、教育委員会のHPに広報資料が掲載されました。3年生のみなさんには、HPに掲載される広報資料を配付します。今回発表されるのは、第一希望のみを集計したものです。大まかな動向はつかめますが、細かく分析するためには少し情報が足りませんので、この数字を見て一喜一憂しないようにしてください。次の点を配慮しながら、12月の懇談に向けて、自分の志望校を固めて行きましょう。

<前期選抜は高倍率>

普通科においては、前期選抜は定員の30%しか募集しません。したがって希望者総数が定員を下回っていても、3倍近くの倍率となります。

<中期選抜は「第1志望 第1順位」が命>

中期選抜は、残りの定員の90%を、その高校を「第1志望 第1順位」で希望した者の中から選ぶステップ1と、残りの10%を、その高校を「第1志望 第1順位」とした残りの生徒と、他校を「第1志望 第1順位」とし「第1志望 第2順位」としてその高校を希望している者を合わせた中で判定するステップ2があります。このとき、ステップ1の合格最低点より、ステップ2の方が高い得点を要求される場合があります。この逆転現象は、人気校ほど小さく、定員ギリギリの高校ほど大きくなります。中期選抜では、「第1志望 第2順位」や「第2志望」の選び方が重要となりますので、今後の志願状況を注視しておく必要があります。

<志願状況は変わる>

今回発表の集計結果は、11月中旬の希望調査の集計です。ということは、最終的な出願状況とは違う可能性があります。この数字だけを見て「こっちは高校の方が受かりやすそう」といって志望校を変えていると、いざ受検するときに困ったことになるかもしれません。自分の将来像や、保護者の方や担任の先生と話してきたこと、自分の実力などをもう一度しっかり見つめ直して、志望校を決めるようにしてください。

*例年、以下のような情報提供が行われます。

- ・1月中旬：京都市・乙訓通学圏の公立高校普通科の前期選抜志望状況
- ・前期発表の翌日ごろ：京都市・乙訓通学圏の公立高校普通科の中期選抜（第1順位）志望状況

☆高等学校等修学資金貸与予約申請に関して(3年生) ☆

進路日よりNo.14でお知らせし、ご希望のご家庭に申請書類をお渡ししています。が、申し出自体がまだ少なく、申請書類をお渡ししたけれども申請書を提出されていないご家庭も多いです。申請に必要な書類をそろえて提出し、審査に通らなければ、修学資金を借りることは出来ません。申請には、厳正な審査があるので、締切間近になって、駆け込みで書類を提出しても、書類不備で予約申請できないこともあります。早めに予約申請手続きを行ってください。(つなぎ資金の申請は、社会福祉協議会です)

第一次締切 11月24日(水) **第二次締切 12月10日(金)** 最終締切 12月20日(月)

※第一次締切は終了。書類訂正の時間が必要ですので、まずは第二次までに提出するようにしてください。